



代議員会 妙高大会によせて

集う・学ぶ・働きかける

新潟県小学校長会 会長 山田 浩之

豊かな自然に囲まれた妙高市において令和6年度代議員会妙高大会を開催できますことを、これまでご指導をいただいていた妙高市・妙高市教育委員会の皆様、またご準備いただいていた妙高市小学校長会・上越市南部小学校長会の皆様に心より感謝申し上げます。

私は、校長会には、大きく三つの役割があると理解しています。

一つめは、「集う」という役割です。校長は、自らの学校運営について最終判断を下すという重い責務を負っています。その責務から時には、孤独を感じたり、迷いを感じたりすることがあります。そんな校長同士が集うことで、互いに様々な思いを分かち合い、共感し合うことができます。それは、その後の職務遂行への活力となり、支えになります。

二つめは、「学ぶ」という役割です。校長は、学校経営に関する資質・能力の向上に努めなければなりません。しかし、校長の研修会は、数も限られていて一般的な内容になることも少なくありません。ですから、校長会において、校長同士が学び合う機会を積極的に作っていかねばなりません。隣の学校の校長の話には、一般的ではない、自分自身が抱えている課題解決へのヒントが含まれているはずで

す。三つめは、「働きかける」という役割です。学校現場には、課題が山積しています。私たちは、その課題に対して、それぞれの学校の創意工夫で解決を図ろうと努力しています。しかしながら、学校だけでは解決が難しい問題や国や地域に共通した課題もあります。そのような課題に対して、現場の声を集め、教育委員会に届け、全連小を通して文部科学省など国の機関に届けることも校長会の役割です。子どものため、教職員のため、学校のため、時には校長自身のためにも、働きかけは、必要な役割です。

校長会は、これらの役割を果たし、新潟県教育の充実・発展に寄与してきたのです。

本日の代議員会を経て、新潟県小学校長会は、令和6年度の活動を開始いたします。特に今年度は、次の三つのことに力を入れて参ります。

- ①子どもの数、学校数が減少する時代における活動の在り方の検討と改善
- ②令和7年度に開催される関東甲信越地区小学校長研究協議会新潟大会への準備
- ③県内各方面に向けた学校の働き方改革に関する呼びかけ

結びに、日頃よりご指導をいただいております新潟県教育委員会、新潟市教育委員会、新潟県中学校長会、並びに様々なご支援をいただいております関係団体の皆様に心より感謝を申し上げます。妙高大会開催のごあいさつといたします。